

作業療法総合研究所主催研修会 (H26/9/28)

# 脳科学と作業療法が 融合するためのキーワード

## 概要

これまでに「作業療法はエビデンスが少ない」、「作業療法をやって本当によくなるのか」といった批判を一度は耳にしたことがあるかと思います。また、日々の臨床業務の中でこのように感じている方もいらっしゃるかと思います。

事実、現状ではこれらの批判を完全に否定することはできません。

しかしながら、世の中には**作業療法の有効性や発展の可能性を示す報告も多数存在**します。

そこで、これまで千葉大学大学院医学研究院にてモデル動物を用いて基礎研究を行い、老人保健施設、病院(精神科)にて臨床業務を行ってきた私の経験から、作業療法の持つ可能性について具体例を提示しながらお話ししたいと思います。

## メッセージ

「作業療法はこれから発展する」

発展させるために我々が行うべきこと  
意識を変える, 有益な情報を集める, 情報を発信する

## ガイドライン

脳科学の研究なんて臨床とは別世界？それは食わず嫌いかも？

- ⇒ 歩み寄りが必要
- ⇒ 研究→臨床, ではなく研究←→臨床であるべき

リハビリテーション医療に関わる方が知っておくべき研究成果はたくさんあります

- ⇒ 見つけ方, 読み取り方, 活用の仕方

具体的にはどういった研究成果があるか？

- ⇒ 身障編, 精神科編, その他

講師: 石井大典氏

作業療法士

木更津病院

千葉大学大学院

医学研究院

認知行動生理学



## コラム「作業療法の根拠となる研究」

作業療法総合研究所ウェブサイトにて絶賛連載中！

## 開催概要

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 3階講堂  
東京都港区虎ノ門2-2-2  
東京メトロ銀座線虎ノ門駅(3番出口・徒歩3分)

平成26年9月28日(日)

12:30-受付 13:00-16:20頃

参加費: 有資格者2000円, 学生500円

定員: 50名

開催情報は8/19頃, ウェブサイト等で発信します

## 作業療法総合研究所

代表 田中秀宜 (北里大学, OTR)

URL <http://ot-lab.org>

Mail [support@ot-lab.org](mailto:support@ot-lab.org)

Facebook <http://www.facebook.com/otlabo>